

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点																																													
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		33																																													
	(1) 施設の設置目的の達成																																																
	① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。																																																
	② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	35	3	21																																													
	③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。																																																
	④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。																																																
<p>〔評価の理由、要因・原因分析〕</p> <p>①男女共同参画センター（以下、「ムーブ」という。）、東部及び西部勤労婦人センター（以下、「レディス」という。）は、市民の男女共同参画社会の形成に関する理解を深め、並びに市民及び民間の団体による男女共同参画社会の形成の推進に関する取組を支援することにより、男女共同参画社会の形成の推進を図るための施設として、女性のチャレンジ支援・就労支援、男性や若年世代の男女共同参画に対する理解の促進、あるいは市民活動のサポートなどを中心に、事業計画に基づき業務を遂行してきた。</p> <p>なお、レディスは、令和3年3月末で閉館となり生涯学習センター分館へ変更となることから、2月末で事業を終了し、3月は引継ぎに係る業務を行った。</p> <p><新型コロナウイルス感染症の影響について></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日から5月25日及び5月31日から6月18日まで臨時休館となった。また、開館中も6月19日から9月18日まで及び令和3年1月16日から2月28日まで利用人数の制限を行ったため、3施設ともに利用者数、講座数はいずれも減少した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、一部の講座では対面ではなくオンラインやオンデマンドによる講義を取り入れた。</p> <p>○利用者数 (単位：人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">男女共同参画 センター</td> <td>目標</td> <td>268,500</td> <td>268,500</td> <td>268,500</td> <td>268,500</td> <td>268,500</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>217,201</td> <td>248,688</td> <td>252,466</td> <td>209,222</td> <td>81,544</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">勤労婦人 センター</td> <td>目標</td> <td>201,500</td> <td>201,500</td> <td>201,500</td> <td>201,500</td> <td>201,500</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>220,705</td> <td>221,583</td> <td>165,058</td> <td>98,521</td> <td>52,472</td> </tr> <tr> <td>東部</td> <td>112,729</td> <td>115,288</td> <td>108,384</td> <td>63,205</td> <td>34,059</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>107,976</td> <td>106,295</td> <td>56,674※</td> <td>35,316</td> <td>18,413</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年度、空調機器工事により4か月間閉館したため、8か月間の利用者数</p>					年度		H28	H29	H30	R1	R2	男女共同参画 センター	目標	268,500	268,500	268,500	268,500	268,500	実績	217,201	248,688	252,466	209,222	81,544	勤労婦人 センター	目標	201,500	201,500	201,500	201,500	201,500	実績	220,705	221,583	165,058	98,521	52,472	東部	112,729	115,288	108,384	63,205	34,059	西部	107,976	106,295	56,674※	35,316	18,413
年度		H28	H29	H30	R1	R2																																											
男女共同参画 センター	目標	268,500	268,500	268,500	268,500	268,500																																											
	実績	217,201	248,688	252,466	209,222	81,544																																											
勤労婦人 センター	目標	201,500	201,500	201,500	201,500	201,500																																											
	実績	220,705	221,583	165,058	98,521	52,472																																											
	東部	112,729	115,288	108,384	63,205	34,059																																											
	西部	107,976	106,295	56,674※	35,316	18,413																																											

○男女別利用者数

(単位：人)

年度		H 2 8		H 2 9		H 3 0		R 1		R 2	
		人数	男性利 用率	人数	男性利 用率	人数	男性利 用率	人数	男性利 用率	人数	男性利 用率
男女共同 参画センター	男性	78,189	36.0%	92,051	37.0%	94,151	37.3%	77,790	37.2%	36,786	45.1 %
	女性	139,012	—	156,637	—	158,315	—	131,432	—	44,758	—
東部勤労 婦人センター	男性	22,238	19.7%	20,030	17.4%	19,762	18.2%	14,305	22.6%	3,761	11.0 %
	女性	90,491	—	95,258	—	88,622	—	48,900	—	30,298	—
西部勤労 婦人センター	男性	33,007	30.6%	30,971	29.1%	18,377	32.4%	11,049	31.3%	5,528	30.0 %
	女性	74,969	—	75,324	—	38,297	—	24,267	—	12,885	—

○講座数

(単位：回)

年度		H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2
男女共同 参画センター	目標	120	120	120	120	120
	実績	136	128	124	126	78
勤労婦人 センター	目標	180	180	180	180	180
	実績	172	151	123	113	106

○就業支援講座

年度		H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2
男女共同 参画センター	講座数	70回	70回	63回	66回	43回
	受講者数	4,352人	3,949人	3,081人	3,153人	1,926人
東部勤労 婦人センター	講座数	46回	39回	26回	15回	15回
	受講者数	4,794人	3,319人	2,478人	2,401人	2,041人
西部勤労 婦人センター	講座数	37回	19回	20回	21回	25回
	受講者数	5,004人	3,257人	2,781人	2,417人	1,388人

【男女共同参画推進事業】

現在、国をあげて取組を進めるべき重要課題である「女性の活躍推進」を支援するため、女性のキャリアアップや就業継続、男性の介護や家事参画など男女共同参画社会の形成を推進するための様々な講座を企画・実施した。

① 生活技術講座、男性の家事育児参画

- 男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を習得することを目的とした男性向け講座や、「いまだきママのリフレッシュ講座」等を行った。また、女性の心と身体の健康を日常生活の中で維持増進することを目的とした「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」講座では、男性への啓発も必要と考え、

対象を女性に限定せずに実施した。

②女性のキャリアアップ、就業継続

- ・働く女性のスキルアップや長く働き続けられるよう支援することを目的に、就業支援講座「働く女性のためのステップアップ講座」を行った。本講座終了後、過去の受講生を対象に「フォローアップセミナー」や「ムーブカフェ」を実施するなど、講座終了後もモチベーションの維持やネットワークづくりに取り組んだ。
- ・レディスもじ・やはたにおいては、女性の経済的自立へのキャリアアップ講座、就業・再就職講座、資格取得講座等を実施した。

【3施設の連携】

- ③ムーブ・レディスでの三館連携による映画祭やリプロダクティブ・ヘルス/ライツの講座を実施するなど、3施設の連携によって効果的に相乗効果を図るとともに、施設利用者の意見等の情報を共有化し、日常的に3施設の連携強化に努め、一体的な運営を行った。
- ④男性向けの講演会「おとこのライフセミナー」を、令和元年度に引き続き北九州イクボス同盟と共催で開催し、企業で働く男性に向けての働きかけを強化したところ、男性参加者の割合が令和元年度に引き続き4割を超えた。

【相談事業】

○相談件数

(単位：件)

年度		H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2
男女共同 参画センター	目標	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300
	実績	4,127	3,963	2,959	2,284	2,415
勤労婦人 センター	目標	100	100	100	100	100
	実績	63	56	42	56	44

- ・令和2年度のムーブ相談室の相談件数は前年度比106%（131件増加）であった。
- ・増加の要因としては、精神的にダメージを受けやすい方が、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に不安定な状態となり、電話相談に繋がったと推測される。
- ・内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」に連動した「女性への暴力ゼロ特別講座」を企画し、毎年開催することにより、女性への暴力の現状や援助について理解し、支援について話し合う機会を得る等、人権侵害にあたる女性への暴力について継続して啓発を行うことができた。

④広報活動

- ・市政だよりをはじめ、ホームページ、各施設の情報誌、フリーペーパー掲載、メールマガジン、イベントなどによる告知、マスコミの活用など、多様な媒体で積極的に情報提供を行った。
- ・ホームページ、フェイスブック、ムーブメールなどを活用し、迅速かつ広域に情報を提供した。

【市民活動への支援】

- ・ムーブフェスタでは、市民の自主的な研究・実践活動を支援する市民企画事業を中心に講演会やイベント等を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。
- ・「人権を考える企業のつどい」や「子育て支援の“いま”を知る！2020」など、録画配信やオンラインを活用した事業であったが、昨年度よりも高い満足度を得ることができた。

○講師派遣数

年度	H28	H29	H30	R1	R2
派遣件数	20件	16件	22件	13件	11件
参加者数	1,984人	1,889人	1,614人	1,434人	1,172人

- ④情報誌「ムービング」により男女共同参画に関する情報等を発信した。また、「女性研究者の研究と育児の両立における葛藤と課題」をテーマにジェンダー問題調査・研究支援事業を行ったほか、北九州市における男女共同参画に関するさまざまなデータを集めた「北九州市の男女共同参画統計データ集2020」を発行した。

(2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	15	4	12
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取り組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。			

『評価の理由、要員・原因分析』

【講座受講生アンケート】

- ・女性のキャリアアップや就業継続、男性の介護や家事参画など男女共同参画社会の形成を推進するための様々な講座を実施し、ムーブにおける受講生アンケートによる満足度は、88.5%と高い水準を保つことができた。
- ・レディスもじでは、就業能力向上や資格取得を目的とした講座の他に様々なレベルのパソコン講座を企画し、就職活動やスキルアップを支援した結果、受講生アンケートでは95.8%の満足度を得ることができた。
- ・レディスやはたでは、女性のための能楽体験教室や地元の小学生向け狂言鑑賞会などを開催し能舞台を活用した事業に取り組んだ結果、利用者アンケートでは満足度96.7%となった。

【アンケート結果（「満足」及び「非常に満足」の割合（令和2年度調査）】

	男女共同参画センター	東部勤労婦人センター	西部勤労婦人センター
施設	97.0% (197/203)	94.5% (173/183)	96.6% (171/177)
職員の応対	98.9% (185/187)	99.4% (176/177)	99.4% (173/174)
講座・講演会	95.0% (38/40)	99.0% (103/104)	100.0% (68/68)
総合的な感想	97.7% (128/131)	98.1% (152/155)	99.1% (113/114)

回収枚数／配布枚数 男女共同参画センター 207枚/300枚
 東部勤労婦人センター 182枚/200枚
 西部勤労婦人センター 183枚/200枚

【アンケート結果（「満足」及び「非常に満足」の割合（令和元年度調査）】

	男女共同参画センター	東部勤労婦人センター	西部勤労婦人センター
施設	99.0% (291/294)	93.6% (261/279)	93.9% (123/131)
職員の応対	98.2% (271/276)	95.4% (251/263)	97.7% (130/133)
講座・講演会	97.4% (75/77)	96.6% (141/146)	100.0% (83/83)
総合的な感想	99.5% (185/186)	96.9% (220/227)	100.0% (111/111)

回収枚数／配布枚数 男女共同参画センター 300枚/300枚
 東部勤労婦人センター 284枚/300枚
 西部勤労婦人センター 136枚/300枚

【アンケート結果（「満足」及び「非常に満足」の割合（平成30年度調査）】

	男女共同参画センター	東部勤労婦人センター	西部勤労婦人センター
施設	97.6% (283/290)	94.9% (187/197)	93.3% (194/208)
職員の応対	96.7% (261/270)	96.4% (187/194)	99.5% (199/200)
講座・講演会	99.1% (113/114)	100.0% (92/92)	98.3% (116/118)
総合的な感想	97.9% (184/188)	96.4% (135/140)	97.6% (162/166)

回収枚数／配布枚数 男女共同参画センター 300枚/300枚
 東部勤労婦人センター 239枚/239枚
 西部勤労婦人センター 219枚/219枚

【アンケート結果（「満足」及び「非常に満足」の割合（平成29年度調査）】

	男女共同参画センター	東部勤労婦人センター	西部勤労婦人センター
施設	97.8% (1,738/1,778)	97.8% (1,151/1,177)	96.1% (1,149/1,196)
サービス	99.0% (830/838)	99.8% (592/593)	100.0% (587/587)
講座・講演会	97.9% (560/572)	99.3% (274/276)	98.0% (288/294)
総合的な感想	98.0% (251/256)	99.5% (193/194)	94.2% (180/191)

回収枚数/配布枚数 男女共同参画センター 298枚/300枚
 東部勤労婦人センター 201枚/201枚
 西部勤労婦人センター 201枚/201枚

【アンケート結果（「満足」及び「非常に満足」の割合（平成28年度調査）】

	男女共同参画センター	東部勤労婦人センター	西部勤労婦人センター
施設	94.1% (1,395/1,482)	89.7% (924/1,030)	88.9% (865/973)
サービス	95.3% (1,124/1,179)	94.7% (776/819)	96.7% (773/799)
講座・講演会	98.4% (126/128)	95.3% (285/299)	94.1% (413/439)
総合的な感想	98.9% (269/272)	95.8% (184/192)	97.1% (169/174)

回収枚数/配布枚数 男女共同参画センター 300枚/300枚
 東部勤労婦人センター 208枚/200枚
 西部勤労婦人センター 200枚/200枚
 ※東部は複写により配布を行い、208枚回収

① 講座・講演会は、定員に対する申込者数や講座の満足度は高く、人気講座については、講座の継続や回数を増やしてほしいといった要望も多く寄せられた。

① 利用者の満足度

・利用者の声の反映、苦情要望を適切に処理し改善した結果、3施設ともすべての項目において満足度が向上した。

②利用者の声の反映

・利用者の要望を受けて、トイレの洋式化等の改修を実施し、利用者が快適に利用できるよう努めた。
 ・ムーブでは、市民団体や企業、利用者などの代表から成る「ムーブ運営協議会」や「ムーブ利用者連絡会議」を開催しており、またレディスでは、「利用者の会（実行委員会）」を開催することで、施設運営や事業内容に対する利用者の意見・要望の把握を行い、円滑な運営に努めている。

③利用者からの苦情要望

・丁寧でわかりやすい説明及び迅速な対応を心がけ、（公財）アジア女性交流・研究フォーラム、ムーブ、レディスの毎月の情報交換会などの場で、苦情事案の説明、意見

交換、職員間の情報共有を図り、各課の連携強化や苦情対応の改善などにつなげた。

2 効率性の向上等に関する取組	30		18
(1) 経費の低減等			
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。	20	3	12
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

- ①ムーブ、レディスの事業計画や実施方針、契約・経理事務や職員研修等をムーブの指定管理担当ラインで一元的に行うことで、効率的な管理運営を行った。
 - ②警備や清掃等の再委託契約に際しては、3施設一括管理導入当初から複数年契約の採用、市の契約規則等に準じた入札や、複数見積を徴した契約者の選定等を実施している。また、消防設備保守業務委託や公用車リース等について、3施設一括契約を採用することにより、1名の契約担当職で業務を行うなど、簡素化及び業務管理の効率化を図った。
 - ③LED照明への転換推進や事務室内の節電の取組など使用電力の節減に努めた。
- ・休館中に、ムーブではホール舞台の研磨床塗装や1階池埋設工事を行い、利用者が快適に使用できる施設整備に努めた。

○保守・点検再委託料 (単位：千円)

	H28	H29	H30	R1	R2
男女共同 参画センター	64,509	64,459	64,193	70,497	73,304
勤労婦人 センター	8,821	9,628	7,539	10,466	10,025

※複数年契約最終年（H30）に契約の単価を見直した際、労務単価に基づき、価格を算出した結果、委託料が上昇した。

○光熱水費 (単位：千円)

	H28	H29	H30	R1	R2
男女共同 参画センター	20,876	24,781	24,808	24,139	18,500
勤労婦人 センター	7,539	7,940	6,734	4,366	3,942

※平成28年度は、ムーブ2階ホールの天井耐震改修工事により、ホールの利用を休止したため光熱水費が減少したが、平成30年度以降は平常ベースに戻っている。
 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館のため、光熱水費も減少した。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	10	3	6
-------------------------------------	----	---	---

[評価の理由、要因・原因分析]

○使用料収入

(単位：千円)

	H28	H29	H30	R1	R2
目標額	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
実績値	37,878	43,672	41,232	35,015	19,757
男女共同 参画センター	30,818	36,289	35,481	29,484	16,324
勤労婦人 センター	7,060	7,383	5,751	5,531	3,433

- ・各室について、計画的に備品の更新を行い、利用者のための環境作りに取り組んだ。
- ・令和2年度の使用料収入は、前年度と比べ56.4%と大幅に減少したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館が主な要因であり、指定管理者の責によらない減少である。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組

20

14

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。	10	3	6
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

① 人員配置

- ・3施設の連携、連絡調整業務を行う指定管理担当を中心に、施設の利用予約状況に応じて効率的な人員で運営できるようにシフトを組む等の人員配置を行っている。

② 職員の資質向上等の取組み

- ・毎月の所内整理日には、3施設とも、体系的な研修計画に基づき、男女共同参画に関する研修をはじめ、接遇マナー、暴力団排除、ストレスケア研修等の様々な研修を幅広く実施した。また、安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画

的な補修等を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED操作研修等）などの職員研修を実施した。

- ・相談体制のさらなる充実のため、各区役所子ども・家庭相談コーナーや法テラス北九州法律事務所などの、他の相談機関や関係機関との連携を図るとともに、相談員を相談知識・技術向上、ネットワークづくりに資する研修に積極的に参加させるなど、相談員の資質向上に努めた。

③地域・関係団体等との連携

- ・就職支援については、3施設とも、就職活動セミナーなどにおいて、マザーズハローワークや福岡県子育て女性就職支援センターの職員から、実際の就職活動に役立つセミナーを実施してもらうなど、連携して効果的に事業を開催した。
- ・国をあげて取り組んでいる「女性の活躍推進」を多方面から支援するため、男女共同参画センターを中心に、ウーマンワークカフェ北九州等の関係機関と連携しながらキャリアアップ、就業継続、再就職、資格取得など、多種多様な講座を実施している。
- ・市の行事への参加をはじめ、関係機関や福岡県警察本部と連携した「DV防止キャンペーン」に参画するなど、地域や関係団体等との協働を積極的に進めた。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- | | | | |
|--|----|---|---|
| ① 施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。 | 10 | 4 | 8 |
| ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。 | | | |
| ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。 | | | |
| ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。 | | | |
| ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 | | | |
| ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。 | | | |
| ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。 | | | |

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 「(公財) アジア女性交流・研究フォーラム個人情報保護規程」等に基づき、個人情報保護ファイルは鍵付きキャビネットに保管するなど個人情報保護の遵守を徹底するとともに、研修などを通して意識醸成を図り、日頃から個人情報保護に努めている。
- ②③ 施設の利用受付にあたっては、きめ細かい内容まで掲載した受付マニュアルを整備、活用して、条例や要綱の遵守、公平・平等な取扱を確実にしている。
- ④ 現金管理については、金庫を鍵付きキャビネットに保管し、終業後に施錠を点検しており適正に管理した。
- ④ 使用料等の徴収及び市への納付、月例報告については、遅滞なく適切に処理している。

- ⑤開館中は、出入口を一ヶ所に限定してサーモカメラを設置し警備員を配置するなど、徹底した感染防止対策を行った。
- ⑥3施設とも防犯カメラ及び非常用通報装置を設置し、また火災や台風、地震対応マニュアルなど各種のマニュアルを整備し日頃から事故防止等の安全対策や事故発生時の対応を確認しておくなど危機管理意識を持ち、不測の緊急事態に備えている。
- ⑦新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館となった際は、休館対応を速やかに行うとともに、利用者への情報提供を迅速に実施するなど、利用者の立場に立った配慮を行い、適切に対応した。

【総合評価】

合計得点	65	評価ランク	C
[評価の理由]			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館期間や利用制限を行ったため、利用者数、講座数、使用料の全てが減少したが、指定管理者の責任に寄らないものであることから、要求水準どおりに業務を完了したと判断した。 ・休館中に、ホール舞台の研磨床塗装や1階池埋設等の工事を行い、利用者が快適に使用できる施設整備に努めた。 ・国等の動向や、市との連携を図りながら、重点となる取組分野や、就業支援や若者向けキャリア形成プログラムなどの事業・講座カリキュラムの見直しを適宜行っている。 ・令和3年度からレディスが生涯学習センター分館へ用途変更するにあたり、備品等の整理や次期管理者への設備内容の説明等の引継業務を着実にを行い、利用者へ不便をかけることのないよう努めた。 ・男女共同参画センターは、市民の男女共同参画社会の形成に関する理解を深めるとともに、市民や団体の取組を支援することにより、男女共同参画社会の形成の推進を図ってきた。また、「第4次北九州市男女共同参画基本計画」に基づいて、固定的役割分担意識の解消に向けて、様々な媒体による広報啓発や、男女共同参画に関する男性の理解を促進するため、男性向け講座を充実させるなど、具体的な施策の実施機関としての役割を果たしてきた。 これらのことが利用者満足度の向上につながっている。 			
[今後の対応]			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きアンケート等により利用者の声を受け、ニーズに応じた講座設定や工夫を行い、利用者の増加及び幅広い年代の利用を図っていく。 			

【北九州市指定管理者の評価に関する検討会議における意見】

適正に評価されている。
 今後も、市と指定管理者と協同で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。